

会 議 録

(5 - 1)

会議の名称		令和6年度第3回春日部市下水道事業審議会	
開催日時		令和7年3月25日(火)	開 会 午前10時00分 閉 会 午後0時00分
開催場所		春日部市役所本庁舎 2階 会議室202	
議長(会長等)氏名		作山 康	
出席者	委員氏名	(出席人数：8人)	
		作山 康、田口真喜夫、下田正樹、梅村武尚、中島邦彦、藤田英典、吉田 剛、酒巻由紀子	
	説明者その他	(出席人数：3人)	
		上下水道部次長（兼）施設管理課長：古谷悦夫	
		経営総務課長：田口俊彦	
	事務局	日本会計コンサルティング（株）南澤 淳	
		(出席人数：7人)	
		上下水道部長：青木 保	
		上下水道部次長（兼）施設管理課長：古谷悦夫	
経営総務課長：田口俊彦			
経営総務課下水道庶務経理担当主幹：高橋裕之			
施設管理課下水道施設担当主幹：松井克憲			
経営総務課下水道庶務経理担当主査：湯浅明子			
経営総務課下水道庶務経理担当主任：本舘未由希			
次第及び公開・一部公開・非公開の区分		[議案第1号] 春日部市下水道事業経営戦略について（公開）	
一部公開・非公開の場合はその理由		☐ 要綱第3条第1号該当： ☐ 要綱第3条第2号該当： ☐ 要綱第3条第3号該当： ☐ 要綱第3条第4号該当：	
配布資料		①次第 ②座席表 ③資料1：中川流域下水道管内で発生した道路陥没事故について ④資料2：春日部市下水道事業審議会第3回審議会 ⑤資料3：春日部市下水道事業経営戦略	
会議録の作成方法		☐ 録音テープ等を使用した全文記録 ☒ 録音テープ等を使用した要点記録 ☐ 要点記録	
会議録署名の指定		議長の指名により、吉田剛委員に決定する。	

発 言 者	発言内容 ・ 決定事項
事務局	1 開会
	・ 審議会の成立報告
	出席委員 8 名、春日部市下水道事業審議会条例第 6 条第 2 項の規定による定足数に達しており、当審議会が成立していることを報告。
	議事進行については、春日部市下水道事業審議会条例第 5 条第 2 項の規定に基づき会長が議長を務めることを報告。
議長	2 会長挨拶
	議事録の署名人に吉田委員を指名。
	本日の議題については、非公開事項が含まれていないため、審議事項については全て公開と決定。傍聴人なしの報告。
事務局	3 報告事項
	中川流域下水道管内で発生した道路陥没事故について
	— 資料に基づき説明 —
委員 事務局 委員	・ 質疑
	八潮市の陥没事故はいつ頃復旧する予定でしょうか。
	埼玉県の方ではまだ公表されておらず未定となっております。
	八潮市の陥没事故もあり、同じ流域である春日部市も他人事ではないということを春日部市市民として改めて感じました。
	4 議題
	継続審議となっている議案第 1 号 春日部市下水道事業経営戦略について
	— 資料に基づき説明 —
	・ 質疑
委員	企業債推移は下がっているのに、企業債残高が増えているのはなぜですか。
	令和 2、3 年度に当初予定より多く借りたため、全体の残高が増えているためです。
委員	資本的支出が減少しているとのことですが、建設を過剰に抑えてしまうと、今回の陥没事故のようなケースが生じる可能性が出てくると思うので、今後の計画に反映してほしいと思います。
	経常収支比率が 100% 以上と説明がありましたが、他会計補助金で補てんしているからという認識で良いですか。
事務局	その認識で合っております。

発 言 者	発言内容 ・ 決定事項
委員	流動比率が低い原因は何ですか。
事務局	高度経済成長期に、一気に起債を借り入れて整備工事を進めるという
	ことが全国的にあり、本市においてもその当時に借り入れた負債が現在
	も残存しているためです。より低金利への借り換えを都度行っておりますが、
	現在も負債残高は多くあるためこのような数値となっています。
委員	経費回収率は、今後の計画として100%を目指していくということ
	で合っていますか。
事務局	経費回収率は100%以上が理想とされているので、100%以上を
	目指して使用料の適正化等、財務体質の改善を行っていきます。
委員	経費回収率は、他の類似団体を見ていると100%以上にするのは不
	可能ではないのかなと思いました。春日部市も近年80%台を推移して
	おり、実現不可能な目標ではないので、他の類似団体を参考にしながら
	向上していければと思います。
委員	春日部市が保有する管渠の耐用年数について、最長の年数と管渠全体
	の平均年数を教えてください。
事務局	春日部市の管渠のほとんどは30～40年になります。あと数年で、
	法定耐用年数を超えた管渠が出てくる形になります。
委員	借金である企業債はネガティブなイメージがありますが、現役世代の
	負担と将来利用者への負担として、使用料と企業債のバランスを上手く
	保ちながら、計画を策定してもらいたいと思います。
委員	春日部市の人件費の段で、令和3年度から職員数が減少していますが、
	問題はないのでしょうか。
事務局	事業の効率化を図るため、令和5年度の上下水道部統合に向けて職員
	を削減してきたものです。今後も効率的な運営に取り組んでまいります。
委員	質問は以上です。第2回審議会でもお伝えしましたが、計画を策定す
	る際には、前計画での予想と、その後の実績との分析を行ったうえで、
	次の計画につなげて、より良い計画を作っていただければと思います。
委員	先ほど職員の質問が出ましたが、職員の中で技術者は何名いるので
	しょうか。
事務局	現在、4人になります。
委員	陥没事故の件もあり技術者の重要性は実感したので、春日部市には技
	術を持った人材の育成など今後も進めていってほしいと思います。
委員	陥没事故の件で、国や県から予算が上がっていましたが、春日部市や
	近隣の市町村の負担はあるのでしょうか。

発 言 者	発言内容 ・ 決定事項
事務局	現在のところ、埼玉県が企業債で賄う予定となっていますが、企業債の返済についてはまだ決まっていないので、交付税で控除した残額がどれくらい残って、それを流域関連市町が一部負担するか等については、決まっておりません。
議長	春日部市の場合は、これまでの使用料が安かったのかもしれないとの感想を持ちました。公共事業なので、税金で賄うという考え方もありますが、公営企業として独立採算を目指していくという二面性を持って取り組む必要があると思います。また耐用年数については、前回の審議会で話しましたが、八潮市の陥没事故を踏まえると、今後はそれぞれの年数を一律で計算するのではなく、個別の条件を整理精査し、耐久年数として設定していく必要があるかと思います。
委員	類似団体としては、同時期に起債等を活用し、建設工事を進めてきた中川流域下水道管内の草加市や越谷市を対象とした方が良かったのではないかと思います。
委員	中川流域下水道に対する春日部市の負担金は、どれくらいになりますでしょうか。また、現在の起債の利率を教えてください。
事務局	まず流域下水道に対し、春日部市が負担している項目は二種類あります。一つ目は維持管理負担金、二つ目は建設負担金です。次に金額ですが、令和５年度の決算ベースで、維持管理負担金が約８．２億円、建設負担金が約１．１億円になります。最後に起債の利率ですが、直近で借りたものが日本政策金融公庫からになりまして、利率は１．７％になります。
委員	春日部市の汚水処理原価が、他の類似団体と比べて高い理由は何ですか。
事務局	理由としては企業債残高の負担が大きいことが挙げられます。現在、年間の支払利息が約３億弱かかるのでそれが大きな負担になっております。
委員	八潮市の陥没事故で４２年しか経過していない管渠が破損したことを受け、耐久年数は必ずしも法定耐用年数の１．５倍ではなく０．８倍程度であるケースも想定する必要があると思います。また、更新時期の見直しの頻度を従来より短くした方が良いと思います。今後は物価高騰等の影響で、修繕費用が大幅に増大していくことが確実と思われますが、修繕費用の見直しについて今後どれくらいの頻度を想定しているのでしょうか。

議 事 の 経 過	
発 言 者	発言内容 ・ 決定事項
事務局	現在、春日部市では次回のストックマネジメント計画策定のための管渠の調査を進めており、その結果を基に修繕費用の見直し等を次期計画に反映させていきます。主な調査は管渠のカメラ調査や地質の状況、各管渠が破損した場合の影響度の計測などを実施し、総合的に精査し判断していく予定です。 また、今回の八潮市の陥没事故を受けて、国の方からも管渠等の特別緊急点検等の要請も出てきていますので、対象となる設備は順次点検を実施していきます。
事務局	春日部市下水道事業経営戦略目次（案）について説明 — 資料に基づき説明 —
議長	今後審議を深めていく必要があるため、本案件は継続審議とさせていただきます。
委員	— 異議なし —
議長	「異議なし」と認め、議案第 1 号は継続審議とし、本日の議事を終了する。
事務局	5 その他 ・ 次回会議日程について
事務局	6 閉会
議事の顛末・概要を記載し、その相違なきことを証するためここに署名する。 令和7年4月16日 署名者の職・氏名 委員 吉田 剛（原書は自署）	